



コンテンツ一覧

【訃報】棟方病院長の逝去について……………1
◆医師異動のお知らせ……………2

◆【総合内科学講座】教授就任のごあいさつ…2

【訃報】棟方充病院長の逝去について

福島県立医科大学会津医療センター副センター長兼附属病院長兼福島県立医科大学名誉教授、棟方充先生が、2019年4月26日（金）、ご逝去されました。67歳でした。葬儀は5月2日に厳かに執り行われました。

棟方先生は、昭和52年に北海道大学医学部を御卒業後、同大学医学部内科学第一講座などで研鑽を積まれ、平成11年4月に福島県立医科大学の呼吸器内科学講座主任教授にご就任。以来、20年の長きにわたり医学教育と研究に情熱を傾け、数多くの医学生を世に送り出すとともに、呼吸器内科部長として多くの患者の治療に当たってこられました。



この間、呼吸器内科部長のみならず附属病院の副病院長、病院長のほか、会津医療センター準備室長、会津医療センター附属病院長等を歴任されるなど、本学の発展のために、多大な御尽力をいただきました。

また、研究におかれましても「呼吸器疾患における遺伝要因と環境要因の解明」をテーマとした臨床に密着した幅広い研究や難治性疾患の新しい診断法や治療法の開発の推進など、優れた実績を積み重ねられ、日本呼吸器学会や日本内科学会、日本アレルギー学会、日本呼吸器内視鏡学会の要職を歴任されるとともに、東北では初めて内科的胸腔鏡の導入など最新の内視鏡技術を取り入れ、高度な診断と治療を実践されました。

平成29年4月に会津医療センター副センター長兼附属病院長に就任されると、自ら先頭に立って経営改善に取り組むなど、病院長としてのリーダーシップをいかに発揮していただいております。

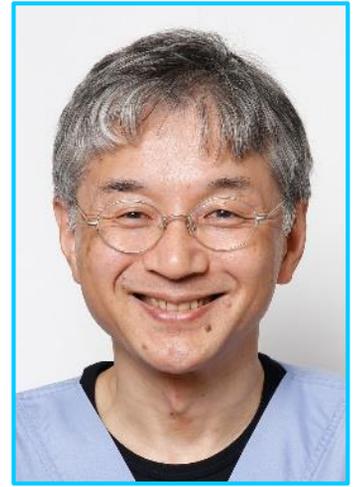
棟方先生の訃報に接し、ここに、改めて深く哀悼の意を表します。そして本学のさらなる発展と、優秀な医療人の育成に全力を尽くすことをお誓いすると同時に、本学、医学界、さらには福島県へのご貢献とご尽力に対し深い感謝の心を捧げます。

人口減・高齢社会を背景にして、医療の在り方そのものが変化を求められています。私たちは「診療・研究・教育の拠点として地域医療の福島モデルを創生する」という故棟方病院長の意志を受け継ぎ、教職員一丸となり、これからも地域医療に尽力してまいります。

◆【総合内科学講座】教授就任のごあいさつ◆

4月から総合内科に着任した山中克郎（やまなかかつお）です。昭和60年に名古屋大学医学部を卒業し、名古屋にある大学病院の救急室で救急疾患を治療しながら、医学生や若手医師に総合診療を教えてくださいました。

しかし、55歳になった時に残りの医師人生は地域医療に捧げたいと決意し、諏訪中央病院（長野県）に赴任しました。名誉院長の鎌田實先生らとともに、往診や住民の健康意識を高め健康的な生活を推進する活動に参加しました。会津でも健康寿命を延ばすような取り組みをサポートしたいと思います。



趣味は大自然のなかのトレッキングです。長野では上高地や八ヶ岳を散策するのが好きでした。夏になったら、磐梯山に出かけたいです

60歳からの新天地での仕事には期待と不安が入り混じっています。最近、サムエル・ウルマンの「青春」という詩を繰り返し読んでいます。「青春とは人生のある期間ではなく心の持ち方をいう。バラの面差し、くれないの唇、しなやかな手足ではなく、たくましい意志、ゆたかな想像力、もえる情熱をさす」

会津で心優しく臨床能力の高い若手医師をたくさん育てたいと思います。

総合内科学講座 教授 山中 克郎

◆医師異動のお知らせ◆

【新任】

所属	氏名	備考
総合内科	山中 克郎	教授
総合内科	宗像 源之	循環器内科から異動
漢方内科	畝田 一司	講師
循環器内科	渡邊 孝一郎	助手
消化器内科	舟窪 彰	助手
消化器内科	竹中 一央	助手

所属	氏名	備考
小腸・大腸内科	根本 大樹	助手
大腸肛門外科	根本 鉄太郎	助手
大腸肛門外科	星 信大	助手
外科	町野 翔	病院助手
整形外科・脊椎外科	高橋 洋二郎	助手
整形外科・脊椎外科	猪股 洋平	助手
麻酔科	佐藤 明	助手